

# 新宿区 UD まちづくり ニュースレター

Vol.  
**09**  
SUMMER

第9号  
2023.06

## UDスポット にしんじゅく5ちようめきたちく 西新宿五丁目北地区

最近の西新宿五丁目北地区をご存じですか？まちづくりの基本テーマである「つどいにぎわうせせらぎのある街」の実現に向けて再開発が進められ、現在オフィスビルやタワーマンション、新たな商業店舗から公園、広場まで、様々な施設がオープンしています。住民や関係者の方々の意見を広く反映してつくられたこの空間は、誰でも気軽に訪れることができ、交流の場、くつろぎの場として人々に親しまれています。

ニュース第9号では、「話し合いを重ね、人々の意見を反映しながら改善して、より多様な人が利用しやすい場所をつくっていく」ことを大事にしている、西新宿五丁目北地区のユニバーサルデザインについてご紹介いたします。

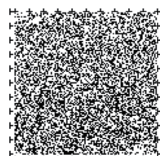
ユニバーサルデザイン

## UDとは？

年齢・性別・国籍・個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できるような生活環境その他の環境をつくり上げていく考え方です。

新宿区には、多くの外国人をはじめ、様々な人々が生活しています。区では、移動しやすく、利用しやすく、わかりやすいまちを目指して、令和2年3月にUDまちづくり条例を制定しました。

このニュースレターでは、新宿区の取組や、UDスポットの紹介、利用者の声などをお伝えしていきます。



Uni-Voice

にししんじゅく ごちょうめ きたちく

# 西新宿五丁目北地区

Nishi-Shinjuku 5-Chome North Area

UD探検隊が行く！新宿UDまちづくりスポット

歩道状空を整備し、  
にぎわいのある歩き  
やすい空間を創出

地域住民の交流の拠点となり、  
災害時には避難場所としても  
利用される公園と広場

Good な  
UD  
ポイント

人と人のつながりを生む空間づくり  
新たに公園や広場、歩行空間などが整備されたこと  
により、昔からの住民と新しい住民がつながる地  
域コミュニティが生まれることが期待されます。

再開発を機に備えられた、災害時用の  
可動式かまどとマンホールトイレ

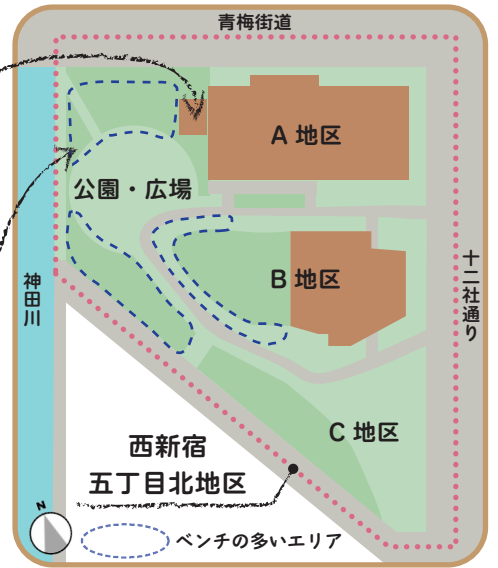


### 利用者コメント

工事をしているときからこの場所を  
知っていました。綺麗な場所になり、近  
くにスーパーができて買い物もしやす  
くなったので嬉しいです。いざというとき  
避難所として利用できるのも良いですね。  
(70代・女性)

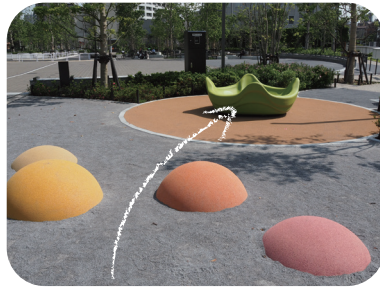
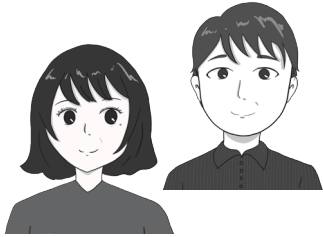


公園と広場からの  
アクセスが良い  
オムツ交換台など  
を備えた車椅子  
使用者対応トイレ



### 利用者コメント

一度訪れて気に入ったので、  
犬のお散歩コースになっていま  
す。水辺や緑がたくさんあり、  
気持ち良く過ごせますね。  
より多様な人が気軽に来れる  
空間になってほしいです。  
(50代・男女・2人組)



障害の有無に関わらず、より多くの  
子どもが楽しめるインクルーシブ遊具

神田川を眺めてゆったりできる  
心地良い散歩道



一つ一つに  
地区の歴史が  
刻まれている



Good な  
UD  
ポイント

### いろいろなデザインのベンチ

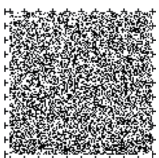
公園、広場には様々な形や高さのベンチが数多く設  
置されています。訪れた人々は水辺や木陰などの思い  
思いの場所に座りながら、のんびりとした時間を過ご  
すことができます。

### 利用者コメント

近くで働いており、普段からお昼  
休憩に利用しています。広くて座れ  
るところも多いので、お昼時も人が  
分散できる場所が好きです。  
(20代・女性)



自分の好きな  
高さが選べる！



Uni-Voice



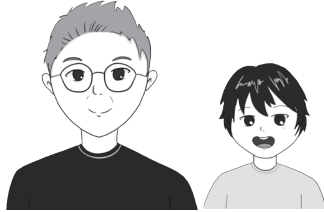
## 地区の未来をつくるエリアマネジメント※

西新宿五丁目北地区では、これまで多くの住民の声を取り入れながら再開発事業が進められてきました。これからも、人々の結びつきを強め、長く愛されるより良い地区にしていくために、住民や近隣の様々な主体と協力しながらエリアマネジメント活動を行っています。

### 利用者コメント

以前からこの地区に住んでいますが、最近イベントの開催などもあり、より地域の人が集える環境になったと感じます。マンションの下の空間なので、気軽に来ることができて、皆と仲良くなることができます。  
(40代・男性・親子2人組)

※地域の良好な環境や価値を維持・向上させるための、住民と事業者による取組



(過去に開催されたイベントのチラシ)

## 再開発プランナー※の方へのインタビュー

西新宿五丁目北地区の再開発は、主に防災性の向上を図るため、まちづくりを行いたいという住民や関係者の方々からの意見がきっかけで平成16年から検討を重ねてきました。この地区の「住民のコミュニティが失われつつある」「オープンスペースが少ない」「活気とにぎわいが薄れてしまった」という3つの課題を解決しようという想いから、「**つどいにぎわうせせらぎのある街**」というまちづくりの基本テーマが生まれました。

このテーマをもとに始まった再開発でしたが、見慣れたまちの風景が一変してしまうため、複雑な思いを抱く人もいました。そのため、地区の歴史を刻んだベンチや再開発前の建物のタイルを再利用したベンチを公園や広場に設置したり、元々あった建物の形に歩道の舗装の色を変えたりすることで、再開発があっても過去と現在の繋がりを感じられるような工夫をしています。また、大通り沿いに店舗を設ける、地区内に親水空間をつくる、近隣と調和するように桜の木を配置するなど、**この空間を利用する住民や関係者の方々**の意見を反映するよう心掛けました。

さらに、ただ建物をつくるだけではなく、場所の運営・活用や、人と人の繋がりを生み出すため、「よどばしエリアマネジメント」という団体がまちづくり活動を行っています。地域の関係団体と一緒に地域活動を進めるコミュニティ勉強会を行うほか、課題でもあった新旧住民の交流促進のため、これまでに3回イベントを開催しています。今後も防災訓練やイベントを開催することで、この地区を含むエリア全体の交流の場としての役割を果たしていく予定です。

西新宿五丁目北地区は**いろいろな方の意見を集約してつくられたという点が最大の特徴**です。再開発が終わったあとも、地区の価値の維持向上を図る取組は続きます。**問題のある箇所を常に改善していくという姿勢を持ち、話し合いを通じて意見を取り込んでいくことは、ユニバーサルデザインにとって非常に大事な考え方**です。今後利用者の増加が予想される中で、より多様な人が快適に過ごすことができ、愛される空間であり続けることができるよう、引き続き取組を進めていきます。



株式会社 アールアンドデイ  
新建築都市研究所  
コンサルタント部 大野さん



タイルの色でかつての建物の形を表した歩道

※まちづくりやマンション建替え等の再開発専門技術者

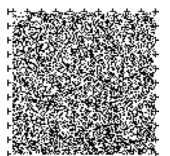
## 受け継がれる土地の歴史

地区内の様々な場所には土地の歴史や記憶が刻まれ、かつての土地の姿を今に伝えています。



昔あった助水堀を  
連想させる親水空間

地域の人々がお参りしている伏見  
稻荷を場所を変えつつ残している



Uni-Voice



## 共生社会と インクルーシブな まちづくり



東京大学 経済学研究科  
特任研究員  
丹羽太一さん

共生社会とはどんな社会でしょう。

ユニバーサルデザインを推進する政府の行動計画では「障害がある、ないや女の人、男の人などにかかわらず、お年寄りも若い人も、すべての人がお互いの人権（私たちが幸福に暮らしていくための権利）や尊厳（その人の人格を尊いものと認めて敬うこと）を大切にし、支え合える社会」とされています。新宿でも、共生社会の実現のために「ユニバーサルデザインのまちづくり」と「心のバリアフリー」の取組を進めています。

ユニバーサルデザインによって、様々な人にとって障害となっているまちの環境を整備し、さらに問題があれば、話し合い、理解し合っているいろいろな意見を人々の関わりの中に反映していくことで、障害はなくなる事ができるものです。障害はその人を取り巻く社会の問題として解決できるものなのです。

障害者差別解消法という法律はこれを社会で実現していくための決まりを定めています。まず、一般的に不特定多数の障害者が使いや

すい「環境の整備」を行わなくてはなりません。「環境の整備」はいわゆるバリアフリーの環境づくりです。例えば車いすで設備が自由に使える、視覚に障害があっても自由に動いて情報も得られる、聴覚に障害があってもコミュニケーションがスムーズに行える、などがあたりまえにできることが求められます。そのうえで、障害によって個別に異なる取り扱いが必要になることがあるときは、「合理的な範囲であれば」提供しましょうという考え方が「必要かつ合理的な配慮」になります。「個々の場面における障害者個人のニーズに応じ、過重負担を伴わない範囲で、社会的障壁を除去すること」が合理的配慮です。「環境の整備」が一般的な措置であるのに対し、合理的配慮は個別的な措置になります。

障害の有無や性別にかかわらず、高齢者も若者も、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現はインクルーシブなまちづくりのはじめの一步です。

（今回のコラムはUDに詳しい専門家の方からご寄稿いただきました。）

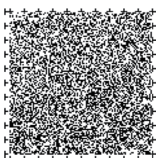
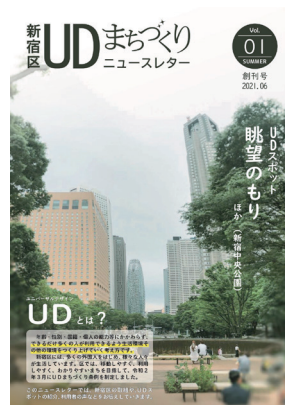
新宿区からのお知らせ

### ニュースレターの「バックナンバー」を是非ご覧ください！

これまでのUDまちづくりニュースレター（創刊号～第8号）は、新宿区のHPからPDFファイルで閲覧できます。新宿区内の公園や広場などの紹介のほか、UDについても掲載しています。



新宿区のHPはこちら→



Uni-Voice

取材・編集：(株) 菫まちづくり研究所

新宿区ユニバーサルデザインまちづくりニュースレター 第9号（令和5年6月発行）

お問い合わせ先：新宿区景観・まちづくり課